

令和5年10月 教育委員会会議録

〈 開会 10時00分 〉

開 催 日	令和5年10月19日(木) 10時00分～11時45分
開 催 場 所	半田市役所 会議室 401
出 席 委 員	教 育 長 鈴川慶光 委 員 桂 優子 委 員 新美 大 委 員 久米宏和 委 員 正村日登美 委 員 堀崎隆資
説 明 の た め 出 席 し た 職 員	教 育 部 長 森 田 知 幸 学 校 教 育 課 長 内 藤 誠 主 任 指 導 主 事 鈴 木 康 弘 指 導 主 事 高 下 隆 史 給 食 セ ン タ ー 所 長 榊 原 秀 夫 生 涯 学 習 課 長 青 木 美 希 ス ポ ー ツ 課 長 加 藤 計 志 ス ポ ー ツ 課 主 幹 長 坂 壮 浩 図 書 館 長 齋 藤 政 樹 博 物 館 長 関 正 樹 南 吉 記 念 館 長 遠 山 光 嗣
事 務 局	学 校 教 育 課 総 務 担 当 主 査 羽 根 広
報 告 事 項	(1) 3か年実施計画事業(令和6～8年度)について (2) 寄附、後援願等について (3) 児童生徒(園児)の交通事故・問題行動等について (4) 新学校給食センター建設工事 工事新聞 10月号 について (5) ネーミングライツパートナーとの契約締結について (6) はんだシティマラソン 2023 のエントリー数について (7) 各種事業について ①「豊でコンサート～0歳からのクラシック～」の開催について ②「ちいさなコンサート」の開催について ③ミニテニス教室の開催について ④「大人のためのおはなし会」について ⑤えほん講座「心の栄養たっぷり！絵本と音楽のやさしい時間」について ⑥「おたのしみ会」について ⑦亀崎図書館「としょかんまつり」について ⑧亀崎図書館「ぐりとぐらのカステラをつくろう！」について ⑨博物館講座「華のしめ飾りづくり」について ⑩博物館講座「てんこく」について ⑪「第38回半田市博物館友の会合同展」について ⑫企画展「詩と遊(あそ)ぶ・新美南吉と知多の自然」について ⑬童話の森の文化祭について

各課事務連絡	図書館
--------	-----

1. 前会の会議録の承認	<p>(事務局)</p> <p>10月定例会の会議録について概要説明 → 承認</p>
2. 教育長報告	<p>(教育長)</p> <p>9月の定例教育委員会から今日までの行事等について報告する。</p> <p>21日、第9回はんだ山車まつりの決起集会に出席した。いよいよ来週28日に迫っており、庁内でも多くの部署が協力して準備を進めている。先日は、市役所の交差点にある提灯の点灯式も行われた。提灯は、各校の小学生を中心に、1,200個程度の絵付けに参加してくれた。また、生徒会サミットの関係では、乙川中学校の生徒会の子たちが、PR動画を作成したり、乙川地区の山車を組み上げるところを取材に行ったり、当日も山車まつりの様子を撮影する予定だったり、すごく意欲的に取り組んでいる。半田をいろいろなところにPRしよう、まちを大切にしたい気持ちをみんなで育てようということをやっている。決起集会の司会も乙川中学校の生徒が担当し、同じく乙川中学校の生徒による山車まつりに向けてのスピーチもあり、来ていた山車組の人たちも感動したという声を聞いた。PR動画については、半田市のInstagramに投稿されているので、一度ご覧いただくとありがたい。市全体で盛り上げられるといい。</p> <p>28日、総合教育会議への参加ありがとうございました。幸せ教育について有意義な意見交換ができた。それに関連することとして、はんだハッピーウィークが10月1日からあった中で、3日に幸せの授業を実践するというので青山中学校へ行った。生徒と保護者の方向けに、外部から講師を招いて、幸せについて考えたりした。PTAとも協力していただけて取り組むことができた。</p> <p>他の学校でも、学校公開や道徳の授業でみんなが幸せについて考えるなど、様々な取り組みをされている。まだ具体的なすべての報告をもらっていないので、それぞれがどんな内容だったかは掴んでいないが、各学校それぞれ考えて取り組んでくれていたように思う。</p> <p>10月2日、日本福祉大学、半田商工会議所、半田商業高等学校、半田市教育委員会の連携協定の締結式があった。それぞれが教育に関わる連携・交流をこれまで以上にやっていこうということで、あえて締結式を開催し、協定書を交わした。</p> <p>この協定の内容は5項目あり、キャリア教育の推進に関すること、探求・STEAM・ESD・小中高大連携など教育課程の開発・実践に関すること、市民協働意識の醸成に関すること、連携・交流のプラットフォームに関すること、その他4者が合意したこと。ということで、キャリア教育を中心にいろいろなところで今までも連携協力させていただいているが、よりこうした関係を深めていきたいということで、締結の運びとなった。また、市内の5つの高校や2つの特別支援学校とも、いろいろな場面での交流を積極的に進めていくのと同時に、日本福祉大学の力も借りていくことも大事だと思う。</p> <p>キャリア教育については、商工会議所が本当にバックアップしてくれている。子どもたちが地元の企業を知り、半田のことをよく知ってもらうには、ぜひそういった繋がりを深めていく必要があると思っているので、今後もこれらの交流は期待したい。</p> <p>他、校長面談として、来年度の人事に向けて各校長と教育委員会、私とで面談</p>

	<p>を始めている。各学校で転出を希望している先生について、来年度どういった人を配置してほしいというような要望などを聞いている。それを元に、5市5町の調整をしている知多教育事務所の担当の方に、半田市としての要望を伝えに行く。</p>
<p>3. 議題 ■報告事項 1) 3か年実施計画事業（令和5～7年度）について</p>	<p>（学校教育課長）</p> <p>令和6～8年度までを対象とする3か年実施計画の内示が示されたので、教育委員会に属するものについて説明する。なお、公表は、11/14（火）を予定しているものであるため、それまでの間、取扱いにご注意願いたい。</p> <p>まず、学校教育課の事業のうち、主なものについて説明する。</p> <p>「亀崎小学校改築等事業」は、現在、既に着手しているものだが、令和6年度に新校舎建設がスタート、令和7年12月に完成・引っ越し、令和8年度に旧校舎の解体と新体育館の実施設計等を実施するもの。</p> <p>「いじめ・不登校対策事業」は、令和6年度からはSSW3人体制により、教育相談員などとともに、相談支援等を展開していく。</p> <p>「共に学ぶ教育環境整備事業」は、これまで「切れ目のない支援体制整備充実事業」という名称であった事業を名称変更するもので、医療的ケア児のいる学校へ看護師及び介助員を派遣等するもの。なお、令和6年度は、現在、多目的トイレが一つもない学校（雁宿小学校、板山小学校）、こちらに多目的トイレを設置する費用も計上しており、医療的ケア児だけでなく、身体障がい児や、LGBTQなど、幅広く支援する事業と位置付けている。</p> <p>「中学校部活動改革事業」は、令和6年9月に土日祝日の部活動を廃止し、地域クラブでの活動に切り替わるのに伴い、その活動が学校のグラウンドなどで行われる場合に備えて、学校敷地内の駐車場の整備や倉庫の設置を行う事業となる。</p> <p>「小学校・中学校防犯カメラ整備事業」は、児童生徒が安心安全に学校生活を送ることができるよう、令和6・7年度の2か年で、各学校に防犯カメラを設置するもの。</p> <p>「乙川東小学校改築等事業」は、亀崎小学校に続き、老朽化した校舎等を改築等する事業で、令和7年度に設計、令和8年度から新校舎建設に着手するものとなる。</p> <p>「学校地域協働支援員配置事業」は、学校と地域との連携を支援する事務職員を学校に配置するもので、現在、亀崎小学校に1名配置しているものを順次拡大し、毎年2名ずつ増員を図っていく事業となる。</p> <p>（学校給食センター所長）</p> <p>「新学校給食センター建設事業」については、現在の施設の老朽化に伴い、令和6年9月から供用開始をする予定で進めている事業である。令和6年度は建設に係る費用、令和7年度は現在の給食センターの取り壊しに係る費用を計上している。</p> <p>「学校給食調理委託事業」については、令和6年度の1学期分までが現給食センターにおける調理委託、同年の2学期からは、新給食センターにおける調理委託、</p>

更に令和 7 年度からは、幼稚園給食分と県立中学校分を含めた委託料を計上している。

「市立幼稚園給食提供事業」については、令和 7 年度から公立幼稚園 5 園に対して実施する幼稚園給食に係る費用を計上している。具体的には、各幼稚園への配送委託料、給食受け入れパートの人件費、食材料費を計上している。

(生涯学習課長)

主なものを説明する。

成岩公民館改築等事業は、老朽化した成岩公民館を成岩小学校プール跡地に移転し、社会教育法上の公民館ではなく、小学校区を単位とした地域コミュニティの拠点となる「地域交流施設」として建設するものである。令和 6 年度は、今年度から行っている建物等の設計とプール解体工事を実施し、令和 7・8 年度に建設工事を行う予定である。

音楽のあるまちづくり事業は、セントラル愛知交響楽団との協定に基づく事業を実施する他、新規事業として、「音楽マルシェ」を開催する。市内楽器店と連携し、いろいろな楽器の演奏体験や演奏鑑賞ができる親子向けのイベントを年 2 回開催する。誰でも気軽に音楽に触れたり学ぶ体験を提供し、音楽への興味関心を持つきっかけにつなげていく。

福祉文化会館施設等改修事業は、昭和 63 年に開館し、36 年が経過した雁宿ホールを改修するものである。施設や設備の老朽化が著しいため、計画的な整備改修が必要であり、令和 6 年度から大規模改修工事に向けた基本計画の策定と基礎調査を実施する。なお、大規模改修にあたっては、民間の資金とノウハウを活用する「PPP/PFI」という手法を導入するかどうか併せて検討し、効率的な施設の設計、建設、整備・運営を図っていく。

(スポーツ課長)

地域スポーツ・文化芸術活動支援事業。令和 6 年 9 月 1 日から新たな半田市の部活動ガイドラインが施行され、休日の中学校部活動は廃止となり、中学生は地域でのスポーツ・文化芸術活動を実施することになる。現在、各中学校で実施している部活動の種目について、中学生が土日祝日も継続して活動を実施できる環境を構築することを目的に、中学生の受入先となる団体の体制整備等に要する費用に対し補助金として交付する。

新総合体育館建設事業。現体育館は昭和 60 年 11 月に地域文化広場を構成する半田市の施設として、空の科学館との複合施設して建設されたが、近代体育館により求められる「するスポーツ」及び「見るスポーツ」の水準を下回る施設となっていることから新たに総合体育館を建設する。令和 6 年度は基本構想の策定、令和 7 年度は基本計画の策定・PFI 導入可能性調査、令和 8・9 年度はアドバイザー業務（事業者選定）を予定している。

大学地域連携スポーツ推進事業。日本福祉大学と連携を行い、大学生や大学教員が地域の現場へ入り、地域の人々とともに地域スポーツ振興等の課題解決を

目指す域学連携を行う。各総合型地域スポーツクラブにおける運営のサポートや指導者不足の解消を行い、運営水準の底上げやスポーツクラブの活性化による会員獲得を促すとともに、令和6年度から実施する中学校部活動改革に対応できる体制整備等も行う。

半田運動公園改修事業。老朽化した設備等を施設の現状に適した設備とするために設計し、回収にかかる費用を抑えながら、安全かつ快適に利用できるよう施設の改修を実施する。令和6年度は、受変電装置（キュービクル）の調査設計、令和7・8年度は受変電設備の更新を予定している。

半田福祉ふれあいプール改修事業。半田福祉ふれあいプールは経年劣化が進んでおり、後年度において開始される小学校水泳指導補助委託事業に対応できるように施設等の改修を行い継続的に使用できるようにする。令和6年度は各ポンプ・25m熱交換器等交換、令和7年度は各ろ過装置・空調機器等交換

総合型地域スポーツクラブハウス改修事業。成岩地区総合型地域スポーツクラブハウス（ナラワイング）について、施設の維持、耐久性を確保するための改修を実施する。令和6年度に空調設備（ガスヒートポンプ）を更新する。

体育施設管理運営事業。スポーツ課が所管する体育施設のうち、ヨットハウスについては、平成元年の設置後34年が経過しているため、経年劣化が進んで不具合が生じている箇所について改修工事を実施する。令和6年度にヨットハウス改修工事を実施する。

青山記念武道館改修事業。平成7年に建設された武道館の老朽化による修繕を計画的に実施していく。令和6年度は大道場・小道場の置替え工事を行う。

体育施設作業車等購入事業。体育施設を適正に管理運営していくためには様々な車両が必要となるが、現在、使用している車両の中には、経年劣化により支障をきたしている車両があり、老朽化が進んだ車両を更新することで、施設を安心・安全で快適に利用できる環境を整備する。

どこでもスポーツ推進事業。公共施設の空きスペースを活用した場所を選ばない【どこでも楽しめるスポーツ】を推進する。令和6年度は、庁舎北側の空きスペースでスポーツを含めたイベントを開催する予定である。

（図書館長）

「地域資料等デジタル化事業」は、令和6年度に、貴重資料の保存、利用者の利便性向上と業務効率化を図るため、所蔵する郷土資料などをデジタル化するための事業で、主に資料のスキャン費用となる。また、デジタル化した資料については、公開可能なものは、令和7年度にはんだ電子図書館で公開する予定である。

（博物館長）

「図書館博物館施設等改修事業」は、今年度、施設の劣化等現況調査と改修案作成を実施しているが、その結果を基に、今後施設をどの様にしていくかなどを検討するため、改修工事などは令和9年度以降に行うこととし、令和6年度から8年度はゼロで計上している。

「企画展開催事業」では、令和6年度は、企画展として「美しい鉱物の世界」を開催する。半田市出身のアマチュア鉱物収集家（猪飼(いかい)一夫(かずお)氏名古屋鉱物研究会）が全国で収集した鉱物標本のうち、都道府県別に厳選した様々なものを展示する。

「文化財保存修理等補助事業」は、これまで3か年実施計画で要求していたが、令和6年度から当初予算で要求をすることに変更したので、3か年実施計画上はゼロとなる

「旧中埜家住宅整備事業」では、適正な保存や公開活用を拡充していくため、令和6年度は、学習映像資料の制作や防災用の炎感知器設置工事を行う。

（新美南吉記念館長）

令和6年度の新美南吉記念館劣化診断調査事業は、来年で建設30年を迎え劣化が進んでいる新美南吉記念館だが、これまで対処的な修繕しかできていなかったため、安全確保と長寿命化にむけた修繕計画を作成することを目的に、専門的な業者による診断を受けるものである。

（桂委員）

生涯学習課の成岩公民館改築等事業について。地域交流施設になる理由などがあれば知りたい。

（生涯学習課長）

公民館は、社会教育法という法律に位置付けられているものだが、いろいろな制限がかかる。例えば、営利目的で使うことができなかつたり、宗教や政治絡みで使えなかつたりするため限られた団体でしか使えず、利用できる対象を広げたいという思いがある。

一方で、少子高齢化に伴い、地域自治の力が弱くなっている自治区の力を強くしていくことが求められる。市民協働課と連携して、コミュニティ形成の核となるような拠点施設を考えている。また、地域の人たちが気軽にいつでも集まる場所を作りたいという思いもあり、公民館ではなくて、地域の交流施設として建築する。

ただし、今まで公民館で活動されていた社会教育団体は、地域交流施設でも活動できることと、地域でバザーをやって収益を上げたり、物販などの販売促進なども気軽にできるような施設にしていきたいと考えている。

（桂委員）

これまでの公民館で少し使い勝手が悪かったところが、地域交流施設になることで使いやすくなっているような団体も使えたりすることで地域自治も力を高めるってことだと、その他の公民館もそういうふうに変っていくのか。

（生涯学習課長）

この成岩公民館をスタートとして、各地区公民館は地域交流施設という施設に方向転換していく予定である。

この方針が、幹部会議で決定された。半田市だけでなく、近隣自治体でも同様の方向性で動いている市町もある。その目的の一つは、地域コミュニティの力を強くしていきたいというもの。そのためには、小学校区単位でのまとまったコミュニティにおいて、地域の人たちが気軽に集えるような場所として地域交流施設にしようという考え方をもとに、必要な機能を集めた施設にしていく。

(教育部長)

つまり最終的にどうなるかという、何十年かかるかわからないが、半田市の公民館は中央公民館 1 か所のみとなる。その代わりとして、各小学校区に一つずつ、この地域交流施設ができる。理想としては、なるべくその小学校の敷地の中や隣接する土地に建てたい。そうすると、小学校を中心とした地域コミュニティが充実すると考えている。

(桂委員)

今の話はすごくいいなと思ったが、デメリットはあるか。

(生涯学習課長)

公民館が地域に根付いているので、地域の人たちにとっては地域交流施設になってどう変わるのかというイメージがしづらいと思う。

また、小学校の敷地内に建てることによって、不特定多数の方々が出入りすること、車の進入による交通事故の心配などもあるため、車と子どもたちの動線について、どのように安全を確保していくのかについては、考えていく必要がある。

(久米委員)

各小学校の中の施設ということで、亀崎小学校もそのような計画があるのか。

(教育部長)

亀崎小学校については、まだ亀崎公民館を建て替えるタイミングではないため、校舎改築のこのタイミングでは地域交流施設としない。

(久米委員)

いずれ建てることを考慮した配置になっているのか。

(教育部長)

仰るとおり、敷地内に地域交流施設を建てられるスペースは必要となるため、一つの候補としてはアスレの森の南西の角あたり。あるいは、今のプールを取り壊してそこに新体育館を建てたあとの、現在の体育館の跡地。この場合は学校の建物の間のような場所に地域交流施設が建つことになる。これがいいのか悪いのか。また、駐車場の

	<p>ことも考えなければいけない。いずれにしても課題はあるため、これから検討する必要がある。</p> <p>(久米委員) 施設長は、公民館長と同じような仕組みで地元の方が担うのか。</p> <p>(生涯学習課長) 決まっていない。これから地域と話し合い、どうするのかを考えていく。地域交流施設になると、建物を所管する課が変わり、今までは社会教育という点で生涯学習課が所管していたが、地域コミュニティのための拠点施設という目的となるため、市民協働課が施設を所管する。 施設管理・運営が地域の方になるのか、民間を活用するのは未定。これから話し合っていく。</p>
<p>2) 寄附・後援願等について</p>	<p>(学校教育課長) ・4団体より寄附。 (内訳：現金 294,400 円、「交通安全のお約束」の看板、防災備蓄品を補完する物置、茶運び人形・面かぶり) ・18件の後援名義を許可。</p>
<p>3) 児童生徒(園児)の交通事故・問題行動等について (非公開)</p>	<p>(指導主事) 令和5年9月15日～10月17日の交通事故・問題行動等について。 交通事故：4件 9月19日(火) 1件 9月25日(月) 1件 10月10日(火) 1件 10月13日(金) 1件 問題行動(被害)等：7件 7月20日(木) 1件(遡って報告) 9月22日(金) 1件 9月26日(火) 1件 9月29日(金) 2件 10月11日(水) 1件 10月12日(木) 1件 交通事故以外の事故：2件 10月4日(水) 1件 10月16日(月) 1件 学校等被害：0件 不審者情報：3件 10月11日(水) 1件 10月13日(金) 2件</p>

(正村委員)

問題行動の遡りの報告の件だが、最初の子どもからの SOS に対して、先生方は何か行動を起こしていたのか。

(指導主事)

学年では共有していたが 4 役には伝わっておらず、夏休み明けの対応となった。この点については学校も反省し、管理職から当該教員へ指導している。

(正村委員)

大人が見て見ぬ振りをしているということが、子どもたちを傷つけているということに先生方は気づいてほしい。

言葉で表せないものを、感情に出していく。子どもに向き合ってほしい。

(指導主事)

今の意見も含め、学校には指導助言をしていきたい。

(堀崎委員)

問題行動について、学校事情もあるが、生徒支援連絡会をやってはどうか。生徒指導主任が校長、教頭、SSW、学年主任などと定期的に情報共有する会。そういった場で早めに対応していかなければならない。とても心配している。

(指導主事)

当該学校は、そういった全体での会を実施していない。管理職と学年主任が情報共有する場など、少人数で共有する場はいくつかある。多くの人がそろう時間を確保することが難しいことも承知しているが、学校にも必要性を伝えていきたい。

(新美委員)

問題行動について、親の理解、協力はどうか。

(指導主事)

その親とは関係性を築けていると聞いている。子どもが前を向いて生活できるよう一緒に協力してやっていこうという話になっている。

(指導主事)

別件だが、学校内での問題行動ではなく、学校外での行動で心配な生徒たちもいるようで、そちらも対応を考えている。

(教育長)

いずれにしても、市内全体で情報共有しながら対応を進めてください。また、委員におかれても、何か情報があれば学校教育課へ届けてください。

<p>4) 新学校給食センター建設工事 工事新聞 10月号 について</p>	<p>(給食センター所長)</p> <p>建設工事の様子や進捗状況を広く皆さんに知っていただくために、今後、このような工事新聞を作成し、随時、発信していくことを考えている。</p> <p>発信の方法としては、ホームページへの掲載、建設地周辺にお住まいの瑞穂区の方については回覧板での周知も併せて行う。</p> <p>頻度は、工事内容にある程度の変化が生じた際に、適宜、作成をして発信する。</p> <p>掲載してある写真は、ドローンで上空から撮影したものと、西側から東側へ向かって撮影したもので、いずれも9月末に撮影したものである。</p> <p>現在は、基礎工事を進めており、12月初頭より、建物の建築工事に入る。</p> <p>次回の工事新聞の発行については、建物工事の進捗状況をお伝えする予定である。</p> <p>(正村委員)</p> <p>良い取組だと思った。にじいろ保育園が花園に建ったときに、近所の方がどうなっているのだろうと毎日のように見に行かれていた。こういった新聞で状況がわかり、楽しみにして下さる方々が増えるといい。</p>
<p>5) ネーミングライツパートナーとの契約締結について</p>	<p>(生涯学習課長)</p> <p>10月5日の中日新聞に掲載されたが、半田市福祉文化会館と半田運動公園のネーミングライツパートナーが決定した。瀧上工業株式会社と株式会社ぴよログが権利を取得し、それぞれ新しい愛称が「瀧上工業雁宿ホール」「半田ぴよログスポーツパーク」となる。瀧上工業についてはご存じかと思うが、ぴよログについては、裏面をご覧ください。昭和町に事業所があり、「育児記録アプリ ぴよログ」を開発し、300万超ダウンロードされているそう。</p> <p>10月1日付で契約締結し、契約期間はいずれも今年の12月1日から令和10年3月末。ネーミングライツ料は、記載のとおりである。各施設の新たな財源として、今後有効に活用していく。</p> <p>(教育長)</p> <p>ぴよログは、存じ上げない方も多いのではないかと。子育て世代では有名なアプリのようだが、半田市に本社があることは知られていないと思う。</p>
<p>6) はんだシティマラソン2023のエントリー数について</p>	<p>(スポーツ課長)</p> <p>11月5日(日)に開催するはんだシティマラソン2023の申込者数に関するものである。大きく分類して、7部門からの構成になっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般の20km 男女合わせて95人 ・一般の10km 男女合わせて280人 ・中学生3km 31人 ・小学生1km 154人 ・リレーマラソン20km 39組(男子8組46人、混合31組196人)

	<p>・リレーファンラン 10km 21 組 (132 人) ・午後のウォーキング 2 キロ 500 人 午前中のマラソン、リレーで 934 人、午後のウォーキング 500 人、合計 1,434 人の方がエントリーいただいている。</p> <p>なお、昨年は、リレーやマラソン等で 393 人、午後のウォーキングは 180 人だったので、昨年は規模を縮小していた都合もあるが、今年は各参加者が増えた状況である。</p> <p>(久米委員) コロナ前の参加者と比較するとどうか。</p> <p>(スポーツ課長) コロナ前は 3,000～4,000 人近く参加いただいていたので、それに比べると少ないが、開催形式もだいぶ変わってきているので、一概には評価できない。</p> <p>例えば、昨年リレーマラソンを初めて開催したが、非常に参加者の方からご好評をいただいた。実行委員会の中でも、ぜひこのリレーマラソンは継続して、いわゆるエンジョイの部分ぜひ盛り込んだものにしたいという意見もあり、今回はリレーマラソンと個人の部を併催するような形としたことも影響していると思う。</p>
<p>7) 各種事業 ①「畳でコンサート～0 歳からのクラシック～」の開催</p>	<p>(生涯学習課長) 普段、コンサートや演奏会に参加することが難しい乳幼児のいる親子が参加できる演奏会を実施することで、音楽文化に触れる機会を創出し、音楽のあるまちづくりを推進するものである。11 月 11 日 (土) に、雁宿ホールの畳の部屋、教養娯楽室で行うので、畳で座ったり、寝転がったり、お昼寝したりしながら、リラックスして参加できる。毎回、定員を超える申込がある大人気のコンサートで、5 年連続の開催となる。今年は 4 部制各回 40 名で先着順の申込制だが、すでに満席となった。</p>
<p>7) 各種事業 ②「ちいさなコンサート」の開催</p>	<p>(生涯学習課長) こちらも親子連れを対象とした大人気のコンサートである。12 月 16 日 (土) に雁宿ホール 講堂で行う。2 部制各回 100 名で先着順の申込制だが、1 部はすでに満席となっている。クリスマスにちなんだプログラムとなっている。</p>
<p>7) 各種事業 ③ミニテニス教室の開催</p>	<p>(スポーツ課長) 令和 5 年 12 月 2 日 (土) から令和 6 年 2 月 17 日 (土) までにおいて、12 月 30 日、1 月 20 日を除いた毎週土曜日にさくら小学校体育館でミニテニス教室を開催する。半田市スポーツ推進委員が講師を担い、初心者でも気軽に参加できる教室となっている。</p> <p>ミニテニスは年齢を問わず誰でも楽しむことができるニュースポーツの一つで、全国で多くの人に親しまれている。ラケットは、通常のテニスラケットより短く軽いため扱いやす</p>

	<p>く、普段運動をしない方でも気軽にプレーすることができる。また、ボールも空気を入れたビニール製で、当たっても痛くなく、回転もかかりやすいため戦略的なプレーが楽しめる。</p> <p>市報の11月号にも案内を掲載し、令和5年11月2日（木）から11月20日（月）まで定員20名とした参加者を募集する。</p>
7) 各種事業 ④ 大人のためのおはなし会	<p>(図書館長)</p> <p>11月25日（土）13時30分から、図書館本館において、小学校高学年以上を対象とした「大人のためのおはなし会」を開催する。今回のおはなし会は、いつものおはなし会とは違い、半田ストーリーテリングの会「おだんごぱん」のみなさんが、本を使わず言葉だけで日本や世界の昔話などを語る。申込は不要のため、当日のご参加をお待ちしている。</p>
7) 各種事業 ⑤ えほん講座「心の栄養たっぷり！絵本と音楽のやさしい時間」	<p>(図書館長)</p> <p>12月2日（土）13時30分から、図書館本館において、えほん講座「心の栄養たっぷり！絵本と音楽のやさしい時間」を開催する。幼児の家族、絵本に関心のある一般の方を対象に、幼児向けの絵本に関する講義と、音楽とともに絵本を読み語る実演をしていただく。講師は日本絵本ケア協会代表の真下あさみ氏。定員は30名で、11月8日から申し込みを受け付ける。なお、応募多数の場合は抽選となる。</p>
7) 各種事業 ⑥ 図書館「おたのしみ会」	<p>(図書館長)</p> <p>12月16日（土）14時30分から、図書館本館において、「おたのしみ会」を開催する。「きりんの会」のみなさんが、大型紙芝居の読み聞かせやパネルシアターなどを上演する。定員40名で、12月1日から先着順で申し込みを受け付ける。</p>
7) 各種事業 ⑦ 亀崎図書館「としよかんまつり」	<p>(図書館長)</p> <p>11月26日（日）に、亀崎公民館において「としよかんまつり」を開催する。たくさんの方に図書館ボランティアの活動を知っていただくとともに、図書館に親しみを持っていただくことを目的に開催するものである。午前・午後の2部制とし、各回ともに定員40名、事前申込制で実施します。図書館ボランティア各団体の協力のもと、午前の部は、わらべ歌、手遊びなどの上演、午後の部は、読み聞かせやストーリーテリングなどのほか、工作や録音体験も楽しめる。また、このほかに日本福祉大学の学生さんの協力で、一緒に遊ぶコーナーもある。11月1日から申し込みを受け付け、応募多数の場合は抽選となる。</p>
7) 各種事業 ⑧ 亀崎図書館「ぐりとぐらのカスタテラをつくろう！」	<p>(図書館長)</p> <p>12月10日（日）に、亀崎公民館において、「ぐりとぐらのカスタテラをつくろう！」を開催する。絵本「ぐりとぐら」に出てくるカスタテラを作り、焼きあがるまでの間に読み聞かせを楽しむ内容となっている。当日は、午前・午後の2部制で行う。4歳から小学</p>

	<p>4年生のお子さんとその同居の保護者が対象である。各部定員は5組で20名まで。参加費は1組400円。11月21日から申し込みを受け付け、応募者多数の場合は抽選となる。</p>
<p>7) 各種事業 ⑨ 博物館講座 「華のしめ飾りづくり」</p>	<p>(博物館長) この講座は、12月23日(土)午後1時から、知多半島内でフラワーアレンジメントの講師をされている近藤水名子(みなこ)氏を講師に迎え、花をあしらった正月用のしめ飾りを手作りで製作する講座で、参加費として材料費2,800円をいただく。新年に向け、花を使用して自分の好みに合ったしめ飾りを作成し、ご自宅に飾っていただきたいと思う。</p>
<p>7) 各種事業 ⑩ 博物館講座 「てんこく」</p>	<p>(博物館長) この講座は、12月9日(土)午前10時15分から、日展の入選作家 田中修文(しゅうぶん)先生のお弟子さんであり、日本篆刻家協会評議員でもある吉原愛璃(あいり)氏を講師に迎え、参加費として材料費900円をいただき、彫刻刀を使用して、印鑑を製作する。来年の干支「辰」を彫り、年賀状などに使用していただければと思う。</p>
<p>7) 各種事業 ⑪ 第38回半田市博物館友の会合同展</p>	<p>(博物館長) 12月2日(土)から12月24日(日)までを会期とし、今年で38回目を迎える。博物館友の会には、「拓本」「染色」「はたおり」「陶芸」「古文書」「歴史」の6つの部会がある。日頃の活動成果である部会員が製作した作品を中心に展示する。また、期間中、体験講座や普段の活動状況も見ていただく予定である。</p>
<p>7) 各種事業 ⑫ 企画展「詩と遊(あそ)ぶ・新美南吉と知多の自然」</p>	<p>(新美南吉記念館長) 新美南吉は知多半島の自然を描いた作家で、たくさんある詩にも身近な植物や生き物が登場する。そうした詩の数々を、知多半島の里山をフィールドにする写真家・相地透さんの写真と共に楽しみいただくものである。期間は11月3日から1月21日である。</p>
<p>7) 各種事業 ⑫ 童話の森の文化祭について</p>	<p>(新美南吉記念館長) コロナ禍に入ってから NPO ごんのふるさとネットワークが、南吉記念館との協働により、童話の森の整備に取り組んでいる。鬱蒼としていた樹木を間伐し、随分明るい森になった。そこで綺麗になった森を多くの人に楽しんでもらおうと、11月3日から5日かけて「童話の森の文化祭」を開催する。チラシの裏にありますように、地元で活躍する8人のアーティストたちが森に作品を展示し、ワークショップや子どもミュージカル、朗読会などを開くので、ぜひお立ち寄りください。</p>

<p>各課事務連絡 1)</p>	<p>(図書館長)</p> <p>乳幼児向け読み聞かせグループ「あんころもち」10周年記念講演会について説明する。</p> <p>こちらの事業は、図書館の事業ではないが、図書館で読み聞かせを行っている、乳幼児向け読み聞かせグループ「あんころもち」が発足10周年を記念して、11月10日(金)10時30分から、図書館本館において、絵本作家スギヤマカナヨ氏をお招きして、子どもの育ちに活かす、「4つの絵本の力」についての講演会を開催する。</p> <p>主催は「あんころもち」となるが、申込の受付は図書館が協力ということで窓口となっている。申込は26日までで、定員は80名。応募多数の場合は抽選となる。委員さんで参加をご希望の方がお見えでしたら、お申し出ください。</p>
<p>教育委員からの 意見提言等 (1)</p>	<p>(桂委員)</p> <p>先日行われた市P連の研修会に正村委員と一緒に参加させていただいた。</p> <p>高下先生、SSWの浅井さん、CSWの前山さんが半田市で実践していることをわかりやすく伝えてくださってすごく楽しかった。また、ワークショップでは、参加された保護者の方たちも意見を出し合うことを楽しんでいるようだった。幼稚園の保護者の方も、すごく楽しかったっておっしゃっていた。やってみないと楽しさはわからず、やってみることは大事だと実感した。</p> <p>また、ワークショップの中で、有脇地区の方が、自分たちのまちは家族みたい、地域って温かいよねという趣旨のことを言葉にされていたようで、すごく素敵だなと思い、それを目標にしていきたいなと思った。</p>
<p>教育委員からの 意見提言等 (2)</p>	<p>(堀崎委員)</p> <p>幸せ教育のことで、自分が関わっている小学校ですごくいい実践があったので紹介する。4年生が、ごんぎつねを題材にして取り組んでいたもの。とってもいい発言が子供たちから出て、しかもその学年は学校で一番難しい学年と言われている子どもたち。先生たちも相当な努力をされたと思う。本当にこの子がこんな発言をするのかというような感じで、学級の子たちもすごく感動していて、先生も、児童も、見ていた私も本当に幸せな気分になった。</p> <p>半田市で、ごんぎつねで、幸せ教育を実践したというのは意義深いと感じたので、どこかで紹介していただければと思う。</p>
<p>教育委員からの 意見提言等 (3)</p>	<p>(正村委員)</p> <p>先日、知多農林水産事務所水産課の青山さんと知り合いになった。</p> <p>県として、お魚学習授業のようなことを実施しているそうだが、半田市からの申し込みが少ないそう。昨年度はさくら小学校から申し込みがあったとのこと。</p> <p>内容は、小学校5年生を対象にしたもので、サメが触れたり、海苔を焼かしてくれたりする。ねじり鉢巻をした漁協の人たちが来て教えてくれる。保育園向けには、保護者の方に魚のさばき方を教えたりすることもあるそう。</p>

	<p>よろしければ周知していただきたいと思って報告させていただいた。</p> <p>(教育長) 出前授業として来てくれるのか、どこかへ行くのか。</p> <p>(正村委員) 出前授業。魚を連れてきてくれる。</p> <p>(教育長) おもしろそうな取組であり、また調べてみたい。</p>
教育委員からの 意見提言等 (4)	<p>(新美委員) はんだハッピーウィークが終わったが、板書はどれくらい出てきたのか。</p> <p>(主任指導主事) まだ集計していないのでお答えできない。あまり負担をかけないよう、調査の頻度は少なくしている。さくら小学校は、全校が提出したと聞いた。他にも各学校が工夫して取り組んでいるという話は聞いており、ありがたいと感じている。 当初の予定通り、1人1枚は板書を撮ったものを提出してもらおう。少しずつ幸せ教育について意識していただけるようになってきていると思う。</p> <p>(指導主事) 先日、毎月第2金曜日の夜に開催している若い先生たちの自主研修会において、道徳をテーマにしてやっていたら、一つのグループがハッピーウィークで何やったかという話で盛り上がっていた。自分はこんなことやったよ、こんなやり方もあるのではないかと話をしていて、すごくいいなと思って聞いていた。</p> <p>(久米委員) なかなか学校での様子を知る機会がないが、確実に幸せ教育が根付いてきていると思うので、そういった話を発信できるといい。</p>
次回開催等	<p>(事務局) 11月定例教育委員会 日時：11月21日(火) 10時00分～ 場所：半田市役所4階 402会議室</p> <p>(教育長) 10月定例教育委員会を終了する。</p>

〈 閉会 11時45分 〉